

刈谷国際音楽コンクール審査員によるシリーズ Vol.2

高木綾子 フルート公開レッスン

(聴講料: 無料)

2019年4月2日(火) 13:00~17:00

刈谷市総合文化センター リハーサル室2

ピアノ伴奏 山中惇史

(13:00~14:50)

| | | | |
|--------|------|--------|----------------|
| 小川 紗葵音 | (小6) | ビゼー | 「アルルの女」よりメヌエット |
| 石原 葵加 | (中2) | クーラウ | 序奏とロンド op. 98a |
| 磯貝 美聡 | (中2) | ドニゼッティ | ソナタ |

～ 休憩 ～

(15:00~17:00)

| | | | |
|--------|------|--------|---------------------|
| 小笠原 彩 | (高2) | ドップラー | ハンガリー田園幻想曲 |
| 金巻 明希 | (高2) | モーツァルト | フルート協奏曲1番 ト長調 第1楽章 |
| 小川 理都子 | (大4) | 尾高尚忠 | フルート協奏曲 op. 30 第1楽章 |

<講師>



高木 綾子（フルート）

愛知県豊田市生まれ。3歳よりピアノ、8歳よりフルートを始める。東京芸術大学附属高校、東京芸術大学を経て、同大学院修了。これまでにフルートを西村智江、橋本量至、G.ノアック、小坂哲也、山崎成美、金昌国、P.マイゼンの各氏に、室内楽を岡崎耕治氏に師事。高校、大学在学中よりその実力は高く評価されており、毎日新聞社主催全日本学生音楽コンクール東京大会第1位（1995年）、神戸国際フルートコンクール奨励賞（1997年）、大学内にて NTT Docomo 奨学金を受け、安宅賞（1997年）、宝塚ベガコンクール優勝（1999年）、日本フルートコンベンションコンクール優勝、併せてオーディエンス賞（1999年）、第17回日本管打楽器コンクール、フルート部門第1位及び特別賞（2000年）、第70回日本音楽コンクールフルート部門第1位（2001年）、第12回新日鐵音楽賞フレッシュアーティスト賞（2001年）、ジャン=ピエール・ランパル国際フルートコンクール第3位（2005年）、神戸国際フルートコンクール第3

位（2005年）など多数の受賞歴を誇る。一方で、大学在学中より本格的な演奏活動を開始。これまでに国内主要オーケストラとの共演はもとより、新イタリア合奏団、シュトゥットガルト室内管弦楽団、ミラノ・スカラ弦楽合奏団、サンクトペテルブルク交響楽団の日本ツアーのソリストとして同行、2004年秋にはパリ室内管弦楽団との共演でパリ・デビュー、続く日本ツアーにも同行し好評を博した。

CD録音も活発に行なっており2000年CDデビュー以降多数リリース。現在、東京芸術大学准教授、洗足学園音楽大学客員教授、日本大学芸術学部、武蔵野音楽大学、桐朋学園大学の非常勤講師を務めるなど後進の指導も行っている。

* 伴奏



©Ayane Shindo

山中 惇史（ピアノ）

1990年生まれ。愛知県岡崎市出身。東京芸術大学音楽学部作曲科を経て、同大学音楽研究科修士課程作曲専攻修了。在学中、指揮科、弦楽科ティーチングアシスタントを歴任。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲一般の部第3位。東京芸術大学木曜コンサート（室内楽作品）及びモーニングコンサート（オーケストラ作品）に選抜される。「JR岡崎駅イメージソング」（2013）「岡崎市立翔南中学校校歌」（2014）「祝典行進曲」（2016 岡崎市制100周年記念、岡崎スクールバンド協議会委嘱）など、出身地である岡崎市への楽曲提供も数多く行う。器楽、室内楽、合唱など多数がヤマハミュージックメディア、カワイ出版などから出版されている。またピアニストとしては、上野耕平、漆原朝子、漆原啓子、川井郁子、清水高師、ピエール・アモイル、寺谷千枝子各氏をはじめとする国内外のアーティストと共演を重ねている。2014年、小川響子氏とのデュオで第2回デザインK国際音楽コンクールにてグランプリ受賞。編曲の分野に於いても担当したアーティストはクラシックからポップスまで幅広い。ピアニスト、作曲家、アレンジャーとして参加した各CDはレコード芸術誌にて特選盤、

に出演。Twitter→@ginyamagin